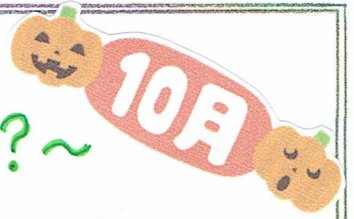


# 带状疱疹 ~ストレスが原因!?!~



10月に入り、朝晩はひんやりと肌寒くなってきました。この時期は暑さと涼さが入り交じるため、体調を崩しやすくなります。風邪をひかないために、早めに休養をとるようにしましょう。今日は「**带状疱疹**について」紹介します。

## ☆带状疱疹とは?☆

身体の中に潜んでいたヘルペスウイルスの一種、水痘(すいとう)・带状疱疹ウイルスによって、左右どちらか一方に**ヒリヒリと刺すような痛み**とこれに続いて**赤い斑点**と**小さな水ぶくれ**が带状にあらわれます。60歳代を中心に50歳代~70歳代に多くみられる病気です。



## ☆原因☆

はじめて水痘・带状疱疹ウイルスに感染したときは、水ぼうそうとして発生します。水ぼうそうが治ったあともウイルスは体内に潜んでおり、**加齢**や**ストレス過労**などで免疫力が低下すると潜んでいたウイルスが再び活動を始め、带状疱疹として発生します。



## ☆带状疱疹はうつるの?☆

結論からいうと、带状疱疹としてうつることはありません! 带状疱疹は、一度水ぼうそうにかかった経験のある人の神経内に潜んだウイルスが再び活動を始めて発生するものです。\*ただし、水ぼうそうにかかったことがない人には、水ぼうそうとして感染する可能性があります。



## ☆治療☆

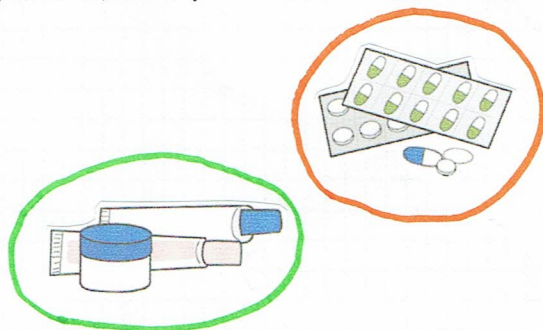
原因となるウイルスに対しては抗ウイルス薬、痛みに対しては消炎鎮痛薬を用います。また、水疱がつぶれて細菌感染した場合は抗菌薬を使用します。

### ✧抗ヘルペスウイルス薬

- ・ウイルスの増殖を抑制し、病気の期間を短縮する
- ・早期から使うことで症状の悪化を防ぎ、皮膚や神経のダメージを軽くする

### ✧消炎鎮痛薬

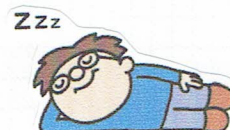
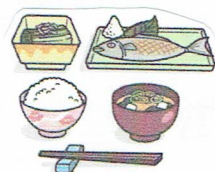
- ・神経や皮膚の炎症による痛みを抑える
- ・飲み薬、塗り薬がある



## ☆予防をしよう☆

日常の予防で最も大切なことは、免疫力を低下させないこと!!

- ・食事のバランスに気をつけて、十分な栄養をとる
- ・睡眠をきちんととり、規則正しい生活を送る
- ・疲れているときには、必ず休息をとる



一般的に、帯状疱疹は自分では判断しにくい病気です。初期段階では、虫刺されやかぶれ、他の皮膚疾患などと思いを違える方が少なくありません。そのため、市販の軟膏等を塗っていて対処が遅れ、重症化させてしまうケースも多くみられます。帯状疱疹は早期に治療を開始するほど治療効果が期待できますので、帯状疱疹かなと思ったら早めに受診するようにして下さい。

寒くなってきましたので、体調管理にも気をつけましょう

